

令和7年度 学校評価アンケート（学校関係者評価）集計表

○ 自己評価結果

【A：十分である B：おおむね十分である C：やや不十分である D：不十分である】

A (4.0~3.25)、B (3.24~2.5)、C (2.49~1.75)、D (1.74~1.0) ※A=4 B=3 C=2 D=1で換算

○ 各領域の二重線枠に自己評価が適切にされているか等について、ご意見があれば記載願います。

○ 自己評価

C  
S  
評  
価

教  
員  
評  
価

領域	今年度の目標	目標達成のための評価の観点	■改善・充実の方策	R7 CS	R6 CS	R7 教員	R6 教員
総務	1 各分掌・学年との連携を密にし、校務・学校行事等の円滑な運営と充実を図る。	1 各分掌・学年と連携し、行事予定の調整や学校行事等を円滑に進めることができたか。	【教職員】 〈改善・充実に向けた方策〉 ・行事や大きな取組については、準備段階から全教職員が目的や役割を共有し、共通理解のもとで進められる体制づくりを図る。 ・教務部がハブとなり、各分掌・学年間の情報共有や役割分担の調整をより意識的に行うことで、学校全体として同じ方向を向いた取組を推進する。	A 3.7↑	A 3.5	A 3.5↑	A↑ 3.3↑
	2 PTA・同窓会活動などを通して、保護者・地域との連携に努める。	2 PTA・同窓会の役員会や総会等を円滑に企画・運営することができたか。		A 3.4↑	A 3.3	A↑ 3.5↑	B 3.0↑
	3 広報活動を活発に行い、長万部高校の様子を保護者・地域に発信する。	3 学校案内の作成や学校たより、ホームページ、インスタグラムの運用を円滑に行い広報活動を推進することができたか。		A 3.6↓	A 3.7	A 3.8↑	A 3.3↓
	4 職務の円滑化に向け、環境整備に努める。	4 職務の円滑化に向け、職員室の環境整備や会議の運営、校内規定集の管理に努めたか。		A 3.5	A 3.5	A 3.8↑	A↑ 3.3↑
■学校運営協議会（CS）の意見→ （自己評価は適切か）		・どんな風に学習をしていて、どんな活動をして、...っていうのをこれまでも広報、インスタ、お便り等でお知らせしていると思うのですが、生徒の視点（声）のものもあって面白いかと。					
学習活動	1 基礎基本を充実させ「主体的・対話的で深い学び」に係る授業改善を推進する。	1 基礎的な学習内容を充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善及び教授方法の改善が推進できたか。	【教職員】 〈改善・充実に向けた方策〉 ・来年度は、学習指導に関する学校全体の共通目標を設定し、それに基づく校内研修を計画的に実施する。 （例：教科等横断的な学習の実施、個別最適な学びに関する具体的実践の共有等） ・基礎力の定着と深い学びの両立を意識した授業設計を行い、教科・学年間での実践交流を進める。 ・総合的な探究の時間を中心に、地域との連携における情報共有の仕組みを整理・強化し、共通理	A 3.4↓	A 3.6	A↑ 3.5↑	B 3.1↑
	2 個別最適な学びと協働的な学びを実現するために、ICT機器を効果的に活用する。	2 ICT機器の活用により、生徒が学ぶ意欲を高め、評価の改善及び個別最適な学びを進めることができたか。		A 3.6↓	A 3.7	A 3.4↑	A↑ 3.3↑
	3 地域との連携・協働を強化し、探究活動を一層推進する。	3 地域と連携・協働した「総合的な探究の時間」全般に関する連絡・調整、各種講演会、その他の学習の企画・運営を推進することができたか。		A 3.5↓	A 3.7	A 3.5	A 3.5↑
■学校運営協議会（CS）の意見→ （自己評価は適切か）		・探究の発表会の進行・運営を町（教育委員会）にやってもらっても良いのでは？議員さんや色んな大人に来てほしい。					
生徒指導	1 基本的な生活習慣の確立を目指し、規範意識を高めるとともに社会に貢献できる資質の向上を図る。	1 教育活動全ての場面において、基本的な生活習慣及び規範意識を高めるとともに社会貢献の資質向上を図ることができたか。	【教職員】 〈改善・充実に向けた方策〉 ・生徒指導部を中心に、教職員全体で指導方針を共有し、一貫性のある指導を継続的に行う。 ・基本的な生活習慣や社会的規範について、具体例を用いた指導を行い、「学校内」と「社会一般」との違いを明確に理解させる。 ・いじめの定義や判断基準について、繰り返し丁寧に説明する機会を設け、生徒への定着を図る。 ・家庭との連携については、可能な範囲で情報共有や協力を進め、学校と家庭が同じ方向性で生徒を支える体制づくりを検討する。	A 3.4↑	A 3.3	B 3.1↑	B 2.8↓
	2 特別活動を充実させ、地域との関わりを深め、主体的・協調性を養う。	2 地域・関係機関との連携を密にし、生徒の主体性や協調性を育むことができたか。		A 3.7↑	A 3.3	A 3.5↑	A↑ 3.3↑
	3 いじめの早期発見・解決に努め、豊かな人間性を育む。	3 いじめに係る未然防止と早期発見、早期解決を実現し、生徒の自己管理能力を育むことができたか。		A 3.3↓	A 3.7	B↓ 2.7↓	A↑ 3.4↑
	4 生徒会行事や諸活動を通して連帯感や一体感を養い、本校生徒としての自覚を育成する。	4 生徒各自が計画・審議・実行に参加することによって自覚を促し主体性を育てることができたか。		A 3.7↑	A 3.6	B↓ 3.1↓	A 3.3↓
■学校運営協議会（CS）の意見→ （自己評価は適切か）							
進路指導	1 小中高大の連携による「地域課題解決型キャリア探究」を推進する。	1 「地域課題解決型キャリア探究」の推進に向け小中高大の連携が実施できたか。	【教職員】 〈改善・充実に向けた方策〉 ・探究活動や地域連携の取組と進路指導を意識的に結び付け、学習成果が進路選択に活かされる仕組みづくりを検討する。 ・町内に限らず、近隣地域や関係機関も視野に入れた進路情報の収集・提供を進める。 ・地域・企業・関係機関との連携を進路指導の観点から整理し、継続的な協力関係の構築を図る。	A 3.4↑	A 3.3	A↑ 3.4↑	B↑ 2.9↑
	2 保護者と進路情報を共有し、進路意欲を喚起させる等継続的できめ細かな支援を行う。	2 保護者説明会や三者面談等を実施し、保護者と共通理解のもと進路指導を実施できたか。		A 3.3↓	A 3.5	A↑ 3.4↑	B 3.1↑
	3 地域や関係機関と連携し、適切な情報提供を行う。	3 ハローワークや商工会等、地域との連携により円滑に進路指導を実践できたか。		A↑ 3.4↑	B 3.1	A↑ 3.5↑	B 3.1↓
■学校運営協議会（CS）の意見→ （自己評価は適切か）		・理科大とのさらなる連携を望みます。 （将来の進路について、理大生に長高生が聞いてみる会等を開催しても良いかと思います）					
健康安全指導	1 心身の健康の保持増進に努め、健全な生活を営む態度の育成を図る。	1 心身の健康を意識し、自己管理能力を育むことができたか。	【教職員】 〈改善・充実に向けた方策〉 ・心身の不調に対する早期発見・早期対応を意識し、関係教職員間の情報共有や支援体制のさらなる充実を図る。 ・防災教室や訓練の内容を工夫し、生徒が自ら考え行動できる防災意識の定着を目指す。	A 3.4↓	A 3.6	A↑ 3.5↑	B↓ 3.2↓
	2 安全に対する意識の高揚に努め、自己管理能力を育成する。	2 様々な事態を想定した安全教育の工夫・充実が図られたか。		A 3.5	A 3.5	A 3.5↑	A 3.3↓
	3 学習環境を整えるために、地域と連携し、校舎内外の美化活動を推進する。	3 地域と連携した清掃活動等により、学習環境を整備できたか。		A 3.5↑	A 3.3	A↑ 3.4↑	B 3.2↓
■学校運営協議会（CS）の意見→ （自己評価は適切か）							
学校運営	1 持続可能な社会の創り手となるため、生徒のウェルビーイングの向上を図っている。また、保護者及び地域から信頼される学校づくりを推進している。 ※ウェルビーイング：身体的・精神的・社会的に満たされた状態	1 教育活動全般をとおして、生徒のエンジェンシーの育成をすることができたか。また、関係機関との連携及び学校たよりやホームページ、Instagram等を活用し、適切な時期に教育活動の成果等を伝えることができたか。 ※エンジェンシー：変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力	【教職員】 〈改善・充実に向けた方策〉 ・校内研修において、本校における具体的な実践事例や課題を共有し、実行可能な取組へとつなげる協議の場を意図的に設定する。 ・外部研修で得た知見を校内研修に還元し、学校全体の教育活動や業務改善に活かす仕組みづくりを進める。	A 3.5↓	A 3.7	A 3.5↑	A 3.3
	2 学校経営参画意識が向上している。	2 常に危機管理を意識するとともにスクール・ポリシー及び本校の身に付けさせたい資質・能力の作成等学校経営参画意識を高めることができたか。		A 3.5	A 3.5	A 3.5↑	A↑ 3.3↑
	3 日常的に研修を推進している。	3 各自がテーマを持ち、授業公開週間や校内外での研修会、講習会等に積極的参加したか。		A 3.6	A 3.6	A 3.5↑	A 3.4↓
■学校運営協議会（CS）の意見→ （自己評価は適切か）							